

**製品名: Bim ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21273**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:22kD;Observed MW:22kD

**抗原情報**

遺伝子名	BCL2L11
別名	BCL2L11;BIM;Bcl-2-like protein 11;Bcl2-L-11;Bcl2-interacting mediator of cell death
遺伝子 ID	10018.0
SwissProt ID	O43521
免疫原	ヒト Bim の合成ペプチド

**背景**

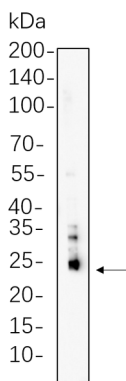
細胞局在: 細胞内膜。この遺伝子によってコードされるタンパク質は BCL-2 タンパク質ファミリーに属する。BCL-2 ファミリーのメンバーはヘテロ二量体またはホモ二量体を形成し、多様な細胞活動に關与する抗アポトーシスまたは促進アポトーシス制御因子とし

て作用する。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Bcl-2 相同ドメイン 3 (BH3) を含む。BH3 は BCL-2 タンパク質ファミリーの他のメンバーと相互作用し、アポトーシス活性化因子として作用することが示されている。この遺伝子の発現は、神経成長因子 (NGF) だけでなく、フォークヘッド転写因子 FKHR-L1 によっても誘導されることから、この遺伝子が神経細胞およびリンパ球のアポトーシスにおいて役割を果たしていることが示唆されている。マウスにおける対照遺伝子のトランスジェニック研究では、この遺伝子が胸腺細胞陰性選択においてアポトーシスの必須開始因子として機能することが示唆されている。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた複数の転写バリエーションが同定されている。[RefSeq 提供、2013 年 6 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



3T3-L1 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを Bim ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。